

題字：石野 華鳳
(書家 小松市出身)

kansei hogo konomi nomi
更生保護 小松能美

小松能美

第7号

2019年(仲秋号)

「更生保護制度 施行七十周年に ふさわしい年に！」



会長 元山 洋

昨年度は皆さま方のご尽力で、名実ともに「小松能美保護区」となる大きな一歩を踏み出し、創意工夫ある部会活動で着実に成果を上げてきています。今年度の総会では、これまでの活動の一層の充実・発展を図るとともに、新たな事業を加え、「更生保護制度施行七十周年」にふさわしい年にしようと決意を新たにしました。七月の「社会を明るくする運動」強調月間中の総理大臣メッセージ伝達、JR四駅街頭キャンペーン等数多くの活動は、保護司会、更生保護女性会、BBS会の連携のもと力強く取り組まれました。今後、先輩保護司方の労苦に敬意を表すとともに感謝し、更生保護に対する熱い思いを受け継ぎ、十月十七日・十八日の映画「君の笑顔に会いたくて」上映運動、十二月三日の「七十周年記念 石川県更生保護大会」の成功に全力で取り組んでいきましょう。「保護司になって良かった」といえるように。

定期総会の開催

小松能美保護司会の令和元年度定期総会は、五月九日午後二時三十分より声城センターにて来賓七名、保護司五十六名中三十七名が出席(委任状十通)して開催された。

来賓の和田小松市長と井出能美市長が挨拶され、前川北町長のメッセージが朗読された。提出議案はいずれも承認された。

平成三十年度収支決算として、収入総額、三百五十九万八百二円、支出総額三百五十九万八百二円、内次年度繰越金十八万七千三百二十三円。主な事業は、JR四駅街頭キャンペーン、「キッズフエスタ2018」に協賛、瀬戸少年院への視察研修、ケース研究会として辰口中学校の二年生百六十二名と二十七名の保護司がグループ別に話し合ったこと、新年自主研修などである。令和元年度収入予算額三百九十九万六千円、支出予算額三百九十九万六千円(内予備費十九万四千六百円)

今年度の主な事業

- 「薬物乱用防止ヤング街頭キャンペーン」六月二十三日 アビオシティ加賀
- 「総理大臣メッセージの伝達」七月一日 各市町庁舎
- JR四駅街頭キャンペーン 七月八日
- 「キッズフエスタ」に協賛 七月十五日 小松市民センター
- 社明啓発広報車に搭乘 七月中各市町内
- 「グッドマナーキャンペーン」に参加 九月各小中学校 校門
- 社会参加活動 十月 福祉施設の清掃作業
- 映画「君の笑顔に会いたくて」上映会開催 十月十七日(小松市民センター)
- 十月十八日(寺井地区公民館)
- 視察研修 十一月二十六日
- 交野女子学院(大阪)
- ケース研究会 十一月二十九日
- 中海中二年生六十二名
- 新年自主研修 一月十三～十四日 おびし荘
- 機関紙(誌)の発行 年三回
- 学校訪問(社明作文依頼・懇談) 七月中
- 定期総会・定例理事会・部会・支部会

令和元年・二年度の役員

会長 元山 洋、副会長 佐野良衛・杉本雅規・中川和信(庶務兼務)、会計 由田外喜夫、庶務 林伸一、監事 山形彰人・屋敷信弘、犯罪予防活動部会長 徳山知子、研修部会長 森本栄史、協力組織部会長 俵 秀雄、広報部会長 新川賢、小松支部分区長 中田毅・加茂隆夫、支部会計 廣島伸治・南裕子
(以上監事を除く十四名が理事)





小松市「リ・スタート」計画

金沢保護観察所 所長 合田 裕憲

令和元年七月一日、県下で初めての地方再犯防止推進計画となる「小松市「リ・スタート」計画」が保護司でもある和田慎司小松市長の強力なリーダーシップの下で策定されました。

同計画は①「やさしいまちづくり」の推進、②住まいと仕事の確保のための取り組み、③保健医療・福祉サービスの利用促進の三本柱を基本に据え、強

力に再犯防止を推し進め安全で安心な地域社会を実現しようとするものです。今後、小松市「リ・スタート」サポート協議会を開催して運用の詳細について詰めていくこととなります。

県庁所在地以外の市・町での同計画策定は全国的に見ても珍しく先進的な取り組みとして全国から熱い視線を集めることになりそうです。

土に想いを込める



チャリティ協力陶芸家 打田 幸生

今、陶芸家として活動している中、新幹線金沢駅待合室や小松市の九谷五彩山モノユメントに作品を未来へと残すことが出来、本当に嬉しく思っています。又、九谷焼伝統工芸士として、小中学校で子供達に上絵体験や講演を行っています。私自身子供達の純粋な心と輝く瞳に接する素晴らしい機会を頂いております。

生家が九谷焼卸小売業を営んでいたもので、自然と陶芸の道に進みました。



素地作りと上絵を学び、今日に至っておりますが、ある先生の「作品を発表してその時人々にどの様な感動を与える事が出来るか、自分ならではの作品をどのように作っていくかを考えなさい」との言葉を今でも座右の銘として頑張っております。

保護司会へチャリティ作品を出品させて頂いている中で、少しでも自分の作品が、皆様の心を和ませ感動を与える事が出来ればと思います。

これからもこの様な機会を作ってお下さった当会に対し、少しでも貢献出来ることを嬉しく思います。



二年目の主任官として

金沢保護観察所 保護観察官 前田 周二

小松能美保護区の主任官として、早いもので二年目を迎えました。

石川県全体の保護観察事件係属数が減少の中、当保護区については、前年に比較しても横ばい状況が続いており、地区によっては対象者が集中し、保護司の中には複数の対象者を担当している先生もおられます。

また、当所においては、本年度を依存症対策元年として、「常識が通じな

い依存症」対象者の処遇について、本年六月、第一回定例研修会を開催し、所長を講師に「依存症(基礎編)」を真剣に学んでいただきました。第二回研修会は「依存症(応用編)」の予定です。

今後も当保護区主任官として、保護司会の皆さんと一緒に、再犯防止に向けた更生保護に力を注ぎたいと思っています。

どうぞよろしくお願い致します。

第42回 有名作家チャリティ作品展

社会を明るくする運動の一環として、有名作家チャリティ作品展が、七月二十五日～二十九日まで金沢市「めいてつエムサギャラリー」において開催されました。

本運動の趣旨にご賛同いただいた県内の有名作家に作品を御寄贈いただき、作品は来場者の入札により、その売上金は罪を犯した人々の更生援助や犯罪予防活動に役立てられます。

期間中、県内有名作家の作品を一堂に鑑賞できるとあって、熱心に見入る来場者でいっぱいでした。

ご寄付された地元作家の皆様、お世話された保護司有志の方々に、厚くお礼申し上げます。

【寄贈された方々】(敬称略)

| | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| ◇ 工芸の部 | 打田 幸生 | 三ツ井為吉 | 浅蔵五十吉 |
| | 山中 国盛 | 高 権成 | 北村 鶴代 |
| | 吉田 美統 | 北村 隆 | 北村 和義 |
| | 村中 曉美 | 北村 英昭 | 糠川 孝之 |
| | 山岸 大成 | | |
| ◇ 絵画の部 | 八十山和代 | 田方 勇 | 北 長八 |
| | 後出 秀茂 | 池岡 信 | 松村 芳明 |
| ◇ 書の部 | 都賀田久馬 | 福田 樹峰 | |
| | | | 西房 浩二 |
| | | | 東 孝太郎 |
| | | | 斉藤 敏明 |
| | | | 新藤 晋 |
| | | | 下道 良平 |
| | | | 田村 敬星 |
| | | | 米田 和 |
| | | | 野村 大仙 |
| | | | 浮田 健剛 |
| | | | 中田 一於 |
| | | | 徳田八十吉 |
| | | | 徳田八十吉 |

7月は社明運動強調月間

能美支部



メッセージ伝達式(能美市)



メッセージ伝達式(川北町)



JR4駅街頭キャンペーン(能美根上駅)

小松支部



メッセージ伝達式(小松市)



広報車出発式



JR4駅街頭キャンペーン(小松駅)

法務省主催第六十九回「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人の立ち直りを地域のチカラで支える運動。

スタートの一日午前、小松支部では、保護司会役員と更女会長が市役所を訪問し、総理大臣メッセージを、和田市長と新田副議長に伝達、懇談した。その後、社明啓発広報車の出発式をして市内を街宣活動した。

能美支部では、保護司と更女で午前中に井出市長と前町長にメッセージを伝達し、社明運動の街宣活動をした。夕方、四地区の公共施設前で啓発ティッシュを配った。防災無線での呼びかけ、ポスター掲示、広報誌への掲載など市町民に訴えた。小中学校と寺井高校を訪問し、学校長と情報交換をした。期間中、テレビ小松で社明PRのCM動画を流した。

当保護司会がキッズフェスタに参加して五年目の今年は、大変暑い日となりましたが、どのコーナーも大好評で、子供だけでなく大人も童心に返って楽しむ様子がとても印象的でした。

会場入り口では、社明チラシ、ティッシュ、ファイルなどの社明グッズ配布を行いました。作ってあそぼうブースでは、「更生ペンギン」のホゴちゃんのお絵かきコーナーや「ぶんぶんごま・竹笛作りコーナー」を設け、たくさん親子連れに参加して頂きました。着ぐるみのホゴちゃんが会場に登場すると、笑顔の子供たちが駆け寄ってきて大人気でした。



ぶんぶんゴマ、竹笛づくり



ホゴちゃんと記念撮影

2019
7/15

キッズフェスタ2019

令和元年七月十五日(海の日)小松市民センターにて開催され、保護司十九名、小松更女四名、BBS会一名が参加し、金沢保護観察所 前田観察官も応援に駆けつけて下さいました。

各部会報告

総務部会 元山 洋

保護区全体に関わる事業、各部会との連絡・調整・相談、並びに各支部へのサポート等計画的・組織的に推進してまいります。さらに、関係機関・関係団体等との連携も意識的に強めてまいります。そのために、各種事業の活動内容・意義・方法等の共通理解・意思疎通を総務部会など各種会議の中で図ってまいります。

また、今年度は特に、サポートセンター・ホームページの有効活用を進めてまいります。

研修部会 森本 栄史



今年度の視察研修は、十一月二十六日に大阪府交野市交野女子学院(女子のみの少年院)を訪問する予定です。

新年の研修会は一月十三日で、講演者は浄土真宗・真宗大谷派保護司会顧問で幸圓寺(金沢)住職幸村明氏の予定で、保護司としての経験話です。

犯罪予防活動部会 徳山 知子



犯罪予防活動部会の担当も二回目になります。今年度も七月八日のJR四駅街頭キャンペーンの実施、十五日はキッズフエスタに参加しました。

十一月には中海中学校でケース研究会を予定しています。可能であれば、公立小松大学での犯罪予防教室も実施したいと思っています。

協組織部会 依 秀雄



六月の第一期定期研修後の部会に於いて、皆さんの意見を聞き、これまでと同様、対象者の社会参加活動を中心に協力雇用主の発掘と就労支援活動に協力していく事になりました。今年度の社会参加活動は、十月中旬に小松市の社会福祉法人「あさひ会」で行う予定です。八月に部会を開き、日程等について、詳細を打合せしたいと思います。今年も多くの保護司のみなさんの協力をお願いします。

広報部会 新川 賢



年度初めの部会にて本年度も機関紙「更生保護小松能美」を年二回(九月、三月)発行することを確認しました。内容もこれまで同様、保護司会の活動をという事で、九月号は社明運動を、三月号は更生保護制度七十周年記念行事中心にこの方針が決まりました。

機関紙は保護司会活動の記録でもあります。これからの活動の一助となるよう、また保護司会の活動を広く知ってもらえるようにと取り組んでいます。関係者のみなさまのご協力をお願いいたします。

退任にあたり



森林 裕子

本年六月九日付で保護司を退任致しました。

平成十九年六月より十二年間、皆様に支えて戴き無事過すことが出来ました事、有難く心から御礼申し上げます。最初の研修会で、どうなることかと戸惑いましたが、勉強会や明るい社会をつくる運動等の諸行事に参加し、いろいろ経験するうちに私の人間の幅が少し広くなり、考え方もやわらかく対応出来るようになったと思います。対象者も

新任にあたり



小松支部東分区分 阿戸 梨加

私が保護司に興味を持ったきっかけは、「保護司の高齢化」と言う記事をインターネットで偶然目にしたことでした。保護司について何も知識のない私でしたが、思い切つて小松市の更生保護サポートセンターの扉を叩きました。その際、保護司について丁寧に教えて頂き、「私も保護司

最初は緊張しましたが、大変でしたが、経験するうちに覚悟も出来、勉強させて戴きました。

青少年の対象者については凛とした態度で厳しく接しますが、大きな気持で、いつでも私の胸に飛びこんで来て！という気持ちで面接しました。少しボタンのかけ違いはあつても母親の態度で必ず変わります。しっかりと抱きしめる気持があれば必ずさわやかな青年になれると信じています。皆様の益々の御活躍と御健康をお祈り申し上げます。

本当にいろいろ有り難うございました。



として活動してみたい」と思い、六月十日付けで金沢保護観察所にて保護司の委嘱状を受け取りました。

七月の社明強化月間では、JR四駅街頭キャンペーンやキッズフエスタなどへ参加し、啓発活動を通してたくさんの方と触れ合うことが出来ました。

現時点では経験不足で分からない事や悩む事ばかりだと思いますが、報連相(報告・連絡・相談)を大切に、積極的に様々な活動に参加していきたいです。どうぞ宜しくお願い致します。

保護司活動のパートナー



小松地区更生保護女性会



「気持ちも新たに」

会長 中谷 純子

令和 気持ちも新たな年、小松市では「リスタート」を立ち上げられ、再犯防止に多くの団体が連携出来ることは私たちの活動の励みにもなるのではと期待しております。

昨年は三者連携活動として保護司会、BBS会の皆様に協賛を頂き、地区別研修会を実施致しました。「甘やかすのではなく、甘えさせてあげる」長きに渉る診療や相談から得られた多賀先生の子育てへ思いの籠った「子供のやる気スイッチ」のお話は参加された方々の心の栄養を育む時間になったと伺い知ることが出来ました。愛のかきやま事業にも温かいお心を頂き感謝致します。一歩ずつですが、先輩の足跡を真に更生保護活動・健全育成に共に取組み、社明の一端を担っていきたいと思います。



小松能美地区BBS会

「地道で多様な活動を」

代表 北野 友希

昨年度から今年度にかけて、平素より行っている児童館活動に加え、金沢保護観察所や金沢地区BBS会の方々と金沢駅でのホゴちゃんとの社明PR活動、金沢刑務所の矯正展の来場者に対する工作指導など新しい活動にも取り組んで来ました。小さな活動の積み重ねが、BBS運動の広がりにつながると信じて会員一同頑張っています。



能美地区更生保護女性会



「支援の輪・会員の輪」

会長 山先 春枝

一握りのお米からスタートした能美地区更生保護女性会も、先人たちの努力のおかげで今年、六十周年を迎えることになりました。初めは更生保護女性会とはどんな会とも知らず、かきやま購入程度の知識しかありませんでした。更女会の活動はわからないことばかりで大変でもありましたが、それ以上に感動することはかりでした。会員の皆様にも、私のような経験をしてほしいと思っております。今年も、湖南学院の三級生講話、徳風苑の夕食づくり、金沢刑務所矯正展等様々な活動を予定しておりますが、皆様とともに参加できればと思っております。

誰もが心豊かに暮らせる社会づくりの助けができるよう、今後も支援の輪・会員の輪を広げていければと思っております。



小松支部だより

保護司全員と更女会員、BBS会員が「君の笑顔に会いたくて」十月十七・十八日上映会開催に向けて取り組みをしている。テレビの世界にどっぷりとつかっているの、なかなか重い腰が上がらないが、試写会を見た。広い会場の大画面、大音量はすべてを忘れて、のめり込む迫力があつた。一保護司の情熱が「オレなんか生きていいの？」と若者に伝わるまでのドラマは、最近忘れかけていた感動を呼び起こす。是非たくさんの人に知ってもらいたいとPRしている。前売り鑑賞券一枚千円(サポートセンターまで TEL0761-4615105)

能美支部だより

社明運動期間中の七月二十五日に保護司十一名と更生保護女性会員十三名が参加して能美地区の更生保護関係者座談会を開催しました。

先に、石川県立児童生活指導センター副園長の常盤秀樹氏の講演を聞きました。常盤氏は、不良行為をなし、またはなす恐れのある児童及び家庭環境に問題のある児童が入所してくる施設で、入所してきた児童と生活を共にしてこられた経験談をお話しされ、傷ついた子どもたちとの関わりの難しさを痛感させられました。特に近年は、虐待など不適切な養育で育った子どもたちが多くなると、施設の運営そのものが難しくなることでした。

交流会では、小中学校を訪問した内容などをそれぞれ地域ごとに報告し合い、また更生保護活動についての意見交換ができ保護司と更生保護女性会員との有意義な交流ができました。



教育現場からの声



小松市立芦城中学校
校長 表 久美子

「芦中生とくん」

本校には、長く大切にしてきた二つの言葉があります。一つは『教育目標』にある「不撓不屈」という言葉です。もう一つは、『生徒信条』の「なに」ことにも 誠意をつくす。熱意をもつてする。創意をこらす。善意をもつ

てあたる。」という言葉です。「不撓不屈」の精神を基盤としながら、社会の様々な変化にもしなやかに対応し、自分でできることを考えて積極的に学び、誰とでも共に学ぶことのできる生徒の育成をめざしています。今年度の取組として、生徒同士の挨拶に焦点を当てた生徒会の呼びかけで、「おはよう おはよう週間」を実施しました。限られた期間ではありましたが、学年を越えて善意あ

る多くの生徒が集まり、学校に挨拶の輪が広がりました。昭和から平成を経て令和の時代になっても、先の二つの言葉が色褪せることなく、芦中生の心に深く根ざしているのは、時代がどのように変わろうとも、人として変わりなく大事にする姿をこの言葉が表しているからだと思います。今後この言葉のさらなる実践に取り組み、保護者・地域の皆様と共に子ども達が成長し続ける学校を目指したいと考えます。

第一期定期研修
六月十一日、小松市第一地区コミュニティセンターで開催しました。
今年度最初の研修会は、金沢保護観察所合田裕憲所長を講師に迎え、「依存症(基礎編)」その背景にあるもの」というテーマでした。近年、覚醒剤等類型(性犯罪、精神障害等を含む)に認定されている保護観察事件数は増加の傾向にあり、保護観察事件の半数がそうした処遇の難しい事件となっているとのことで、処遇の充実強化に資する知識を獲得することを目的に研修しました。
「常識(正論)は通用しないので、保護司は知識(勉強)が必要である。」と、様々な事例を交えながらユーモアあふれるわかりやすい講義でした。



● 薬物乱用防止キャンペーン ●

「ダメ。ゼッタイ。」

6・26ヤング街頭キャンペーン

六月二十三日午前十時三十分より、アビオシティ加賀店においてヤング街頭キャンペーンが行われました。参加された保護司会、更生保護女性会、薬剤師会、ボイスカウトの方々等約百名が店舗出入口六か所に分散して、普及啓発資材(リーフレット、ポケットティッシュ等)の配布と街頭募金を行い「薬物の乱用をなくしましょう!」と呼びかけ、薬物乱用防止を訴えました。
近年、覚せい剤、大麻、危険ドラッグ等の薬物乱用による事件が多発しており、また、若年層への乱用の浸透が懸念されております。「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を展開し、薬物乱用防止に努めようではありませんか。

小松能美保護区保護観察件数等/8月1日現在

単位(件)

| 種別 | 1号 | 2号 | 3号 | 4号 | 環境調整 |
|---------------------------------|----|----|----|----|------|
| 家庭裁判所で保護観察処分を受けた者 | 13 | 2 | 0 | 11 | 11 |
| 少年院から仮退院を許された者 | 10 | 2 | 1 | 8 | 13 |
| 刑務所から仮出所を許された者 | -3 | 0 | +1 | -3 | +2 |
| 刑事裁判所で刑の執行を猶予され保護観察に付されたもの | | | | | |
| 保護観察前に要する、身元引受人及び居住環境の適否調査と調整作業 | | | | | |
| 平成30年 | 13 | 2 | 0 | 11 | 11 |
| 令和元年 | 10 | 2 | 1 | 8 | 13 |
| 増減 | -3 | 0 | +1 | -3 | +2 |

最近の保護観察件数等の動向

全体で見ると昨年に比較してやや減少しているが、本月下旬には既に保護観察新件の予定もあり、ほぼ昨年並みの件数である。

編集後記

今年も暑い夏でした。七夕の短冊に「平穏」「平和」の文字が多く見受けられたように思います。令和の時代への思いが伝わってきます。
更生保護制度七十周年を迎えました。先輩方に感謝しつつ、思いを新たに次へ繋いでいきたいものです。
本号も皆様のご協力により発行できましたこと、感謝申し上げます。
〔新川 賢〕

※お問い合わせ 事務局
TEL0761-46-5105 FAX0761-46-5108
E-mail hogoshikai@aquaplala.or.jp
URL http://hogoshikai.org

発行日 令和元年9月20日
発行行 小松能美保護区保護司会 広報部会
印刷 マルト株式会社